

財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

[法人の概要]

平成18年7月1日現在

代表者名	羽生 誠(非常勤)	県所管部課	農林水産部 漁政課	
所在地	土浦市小松1-21-9	電話番号	029-821-6388	
ホームページURL	—	E-mailアドレス	ksgyoren@beach.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	14,500 千円	設立年月日	昭和55年7月24日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	霞ヶ浦漁業協同組合連合会	11,000 千円	75.9 %
	2	茨城県	3,500 千円	24.1 %
	3		千円	%
	4		千円	%
	5		千円	%
その他	団体		千円	%
設立目的	国営高浜入り干拓予定水面のため、漁場環境が荒廃化していた霞ヶ浦の漁場環境改善と、漁業生産力の増強を図り、漁業及び漁協経営体の体質強化、地位向上に寄与することを目的とし、県及び地元漁協の連合体である霞ヶ浦漁業協同組合連合会とが共同して設立。			

[事業の概要]

事業名	平成18年度事業費	内容
事業1 委託事業 1.漁場環境回復対策 2.漁業資源維持培養 3.漁業秩序維持対策	6,800 千円	1. 霞ヶ浦全域の漁場清掃等を行い、漁場環境を回復させる。 2. 主要魚種(わかさぎ・うなぎ等)の移植放流・人工孵化放流を実施し、漁業資源の維持培養を図る。 3. 違反操業の未然防止や漁業指導の座談会を開催し、漁業秩序維持の確立を図る。
事業2 助成事業 1.漁業近代化施設 2.漁村振興対策 3.漁協育成強化	2,600 千円	1. ホイスト・漁船巻き上げ機等の設備の充実強化を図る。 2. 漁港・船溜まり内の清掃・トラブル防止のためのフェンス設置等の環境整備、淡水魚消費拡大のための各種イベントへの参加、新商品の試食・配布を行う。 3. 漁協役職員のレベルアップ講習・研修の実施、最新事務機器の導入による事務の近代化を図る。
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	平成16年			平成17年			平成18年		
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤理事	10	0	0	8	0	0	8	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0
	計	12	0	0	10	0	0	10	0
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数		
	—	—	—	—	0	一歳 一月	一年 一月		

[収支の状況]

財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

(単位:千円)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度
収 支 の 状 況	収入合計	62	62	18
	事業収入	0	0	0
	事業外収入	62	62	18
	支出合計	6,342	7,940	9,344
	事業支出	3,186	5,219	6,323
	事業外支出	3,156	2,721	3,021
	うち管理費	2,436	2,221	2,596
	うち人件費	700	500	425
	当期収支差額	△ 6,280	△ 7,877	△ 9,326
	正味財産増加額	0	0	4,000
	正味財産減少額	0	0	0
	当期正味財産増減額	△ 6,280	△ 7,877	△ 5,326
前期繰越正味財産	292,265	285,985	278,108	
期末正味財産	285,985	278,108	272,782	
財 産 の 状 況	資産	289,985	282,108	272,782
	流動資産	279,485	271,608	258,282
	固定資産	10,500	10,500	14,500
	負債	4,000	4,000	0
	流動負債	4,000	4,000	0
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	0	0	0
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	285,985	278,108	272,782	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	0	0	0
	貸付金			
	計	0	0	0
	財政的関与の割合(%)	0%	0%	0%
	損失補償・債務保証			

[平成17年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	0	8	0.0%
目的適合性	5	3	14	21.4%
組織運営の適正性	4	2	8	25.0%
健全性	10	9	36	25.0%
効率性	2	1	8	12.5%
合計	25	15	74	20.3%

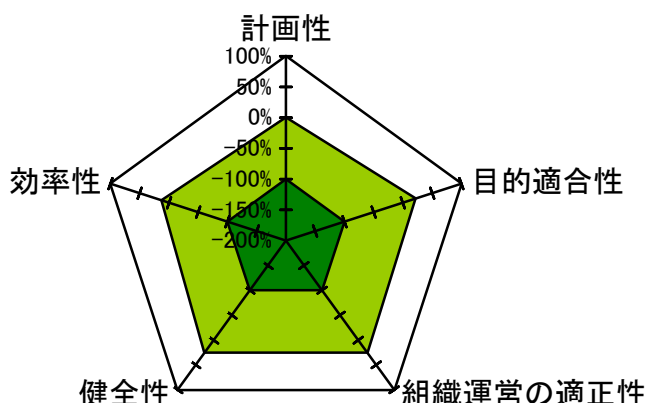
公益法人会計用

財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>国営高浜入り干拓事業収束に伴い、立ち遅れている漁場回復と漁業生産力の増強を図るため、各種事業に対し支援している。</p>	<p>同左の通り、事業を実施している。</p>	<p>職員を置かない、事務委託による管理費の削減のほか、役員の定数や報酬の削減により更なる削減を行っている。また、評議員会の設置により更に適正な運営を行っている。</p>	<p>財務上借入金も無く、特に問題は無い。今後は基金の運用について、安全でより有利な運用を検討したい。</p>	<p>管理費の削減に努めている。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>霞ヶ浦の主要魚種は、周辺地域の急激な人口増加による環境の大幅な変化や外来魚の繁殖等により、年々漁獲が減少し、漁業経営も厳しい状況が続いている。当協会に於いても、中長期計画の見直しにより事業実施の範囲を拡大し、漁業生産力の増強、漁業経営の安定をはかるため、新規事業を積極的に導入しながら事業を進めていく。また、急な事業要請に対処するため、より柔軟な体制づくりを目指す。なお、当協会は収益事業を行わず、基金を取り崩しながら各種事業を行っているため、今後も事業管理費の削減に努力しながら運営を進めていく。</p>			

[法人を担当する課の意見]

		計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
		新たな中長期計画を策定し、その中で有用魚種の資源増殖のための予算を増額するなど、計画的に実施するよう努めていると認められる。	設立の趣旨に合致した事業を実施しているが、社会情勢の変化に対応し、より基金を有効活用するため、漁業者の要望を汲み上げるようなシステムを考える必要がある。	理事会に対する牽制機関として評議員会を設置し、財団運営の透明性を確保している。 今後は、IT等を活用した一般県民向けの情報公開の手段を考える必要がある。	当財団は収益事業を行わず、基金の取り崩しにより各種事業を実施している。現在、財団の財産は、元本保証の預金のみだが、より安全で有利な運用を考える必要がある。	平成17年度において、理事の定数を減らすなど、経費削減に努力している。 今後も管理費の削減を目指し、更なる見直しを行うべきである。
第4次 次行 財政 改革 大綱 等の 推進 工程	推進事項	1 事業の見直し 中長期計画(H18～H22)に基づき確実に事業を実施する。 地元ニーズなどを把握し、費用対効果も検証しながら適切な事業展開を図る。 2 経費の削減 役員報酬及び管理費の削減を図る。				
	計画	平成18年度	平成19年度	平成19年度	平成20年度	
	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業費の拡充 (対前年比380万円増額し、平成18年度から940万円とする。) 役員報酬の削減 (平成19年度に、理事長を除く役員の報酬を一律1万円減額する。) 管理費の削減 (平成19年度から平成23年度までの5年間、事務委託費を年間10万円ずつ削減する。) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業費の拡充 (事業費940万円) 役員報酬の削減 (8万円削減し、総額37万円とする。) 管理費の削減 (事務委託費を10万円削減し、140万円とする。) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業費の拡充 (事業費940万円) 管理費の削減 (事務委託費を10万円削減し、130万円とする。) 		
法人担当課の意見		当該法人は、霞ヶ浦の漁業生産力の増強を図り、もって漁業経営・漁協経営の安定化に資するため、資源増大事業などを実施している。そのための原資は、設立時に拠出された基金の取り崩しであり、一切の収益事業は行っていない。 近年の例を見ない低金利や、ペイオフ対策による決済性預金の活用など、法人唯一の収入である金利収入は徹々たるもので、少しでも基金の有効活用が望まれている状態である。 このようななか、当協会では、管理費の縮減を図るべく、役員定数減による報酬の削減、霞ヶ浦漁連への事務委託費の減額等、経費の節約に努めてきた。しかしなお、総事業費に占める管理費の割合が3割を上回っており、更なる見直しを図る必要がある。 本年度策定した中長期計画において、従来の年間事業費(5,600千円)を9,400千円に増額し、積極的に事業活動を図ることは、低迷を続ける霞ヶ浦の漁業生産力の回復に効果があるものと期待される。今後は、地元ニーズを汲み取りながら、より一層効果的な事業を実施できるよう情報収集などにも注力する必要がある。				

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>平成18年度策定した中長期計画(平成22年度まで)において、年間事業費を560万円から940万円に増額し、積極的な事業展開を図るところであるが、事業実施にあたっては、地元ニーズなどを汲み入れ、また費用対効果も検証しながら、より効果的な事業に取り組んでいく必要がある。</p> <p>なお、当法人は基金を取り崩しながら事業展開をしていることから、引き続き、霞ヶ浦漁業協同組合連合会への事務委託費など管理費の更なる縮減に努める必要がある。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>平成18年度策定の中長期計画の確実な実施が図られるよう指導するとともに、霞ヶ浦の漁業振興に向け、より効果の高い事業の実施方法等について調査・検討するよう指導する。</p> <p>なお、収益事業を行わない当法人においては、管理費等の経費節減は重要であるため、削減について検討するよう併せて指導していく。</p>
-------------	---

< 財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会 から県民のみなさまへ >

霞ヶ浦の漁獲量は、平成17年度 1,656トン(速報値)と昨年度の 1,529トンをやや上回りましたが、最盛期にはほど遠く低迷が続いております。当基金協会では設立以来、霞ヶ浦の漁業振興のため主要魚種の放流等各種事業を実施して参りましたが、未だ十分な成果が出ているとは言い難い状態でした。

今回の経営評価を受け、当基金協会としましては、地元漁協及び漁業者の要望を十分把握し、本年度策定した中長期計画に基づき、設立目的である霞ヶ浦の漁業振興に資するよう、より有効な事業を計画的に実施してまいりますとともに、より一層の経費の削減にも努め、基金の有効活用を図って参りたいと考えています。

平成19年2月 理事長 羽生 誠